

ご来館の皆さまへ

お願い

- ・ペットの同伴はお断りしております（ただし盲導犬・介助犬・聴導犬は可）
- ・館内での飲食はご遠慮ください（熱中症対策の水分補給を除く）

西部3Rステーションではフードドライブ活動を行っています！

あなたのご家庭に食べきれずに余っている未使用の食品はありませんか？西部3Rステーションでは常時「フードドライブ」活動を行っています。ご提供いただいた食品は「特定非営利活動法人フードバンク福岡」を通じて、子ども食堂や福祉施設など食べ物を必要としている方々へ無償で配布されます。ご提供いただく食品は1点から大歓迎。これまで寄付の方法がわからず捨てていた食品を持ち寄り、支援の輪を広げましょう。

ご家庭で
余っている食品を
ご提供ください！



- 日時** 毎日10:00～16:00※休館日を除く
- 場所** 西部3Rステーション2階受付
- 対象となる食品** 未使用・未開封のもので、賞味期限まで1か月以上あるもの。缶詰やレトルト食品、乾物、菓子、米、飲料、調味料など常温保存可能なものに限りです。

西部3Rステーションでは、各種体験講座を行っています。福岡市内にお住まいの方、通勤や通学をされている方なら、どなたでもご参加いただけます。みなさんも身近な3Rを体験してみませんか？

体験講座

すべて無料！

内容は変更する場合があります

牛乳パックで紙すき体験

毎日 10:30～15:30
所要時間30分程度
申込 随時



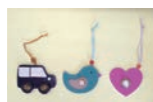
食品トレイでマグネットインテリア

毎日 10:30～15:30
所要時間30分程度
申込 随時



はぎれ(布・革)で作るストラップ

毎日 10:30～15:30
所要時間30分程度
申込 随時



身近なもので万華鏡

毎日 10:30～15:30
所要時間30分程度
申込 随時



廃油で“リサイクル”せっけん作り

水曜日 10:30～11:30
定員 10名/日(先着順)
申込 希望日の3日前まで



体験講座の申込方法 電話、または西部3Rステーションの2階受付で直接お申込みいただくか、①体験内容②住所③氏名④年齢⑤電話番号を明記のうえ、メール(seibuplaza2@f-kankyo.or.jp)、FAX(092-882-4580)にてお申込みください。

生ごみ堆肥相談会

生ごみの堆肥化でお困りの方は何でも相談ください。

■ふくおか環境倶楽部主催
日時/毎月第2・第4土曜日
13:00～16:00

場所/2F啓発コーナー
参加費/無料 事前申込/不要
※基材・テキスト購入可



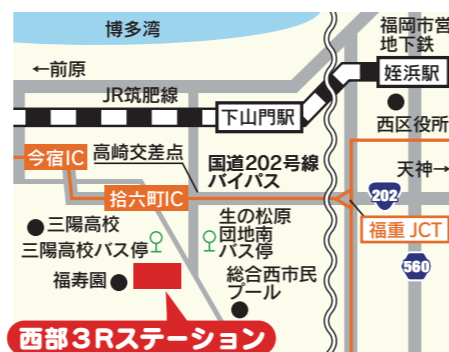
福岡市西部3Rステーション

開館時間 10:00-17:00
(衣類の持ち込みは16:00まで)

休館日 月曜日
(休日の場合は開館し、次の平日休館)

TEL 092-882-3190 FAX 092-882-4580
〒819-0162 福岡市西区今宿青木1043番地の2

バスで
お越しの方
姪浜・天神・博多方面より
西鉄バス「三陽高校前」バス停より徒歩約2分
西鉄バス「生の松原団地南」バス停より徒歩約5分
[西鉄バス情報]http://www.nishitetsu.jp/bus/



http://www.fukuoka-seibuplaza.com 福岡市西部3Rステーション 検索



日常を脅かす気候変動



気候変動と異常気象は密接に関係しています。

気候変動とは、地球の平均気温や降水量、風のパターンなどの長期的な変化のことです。主な原因の一つとして人間活動による温室効果ガスの増加が挙げられます。これにより地球全体の気温が上昇し、気候システムのバランスが変化しているのです。

この気候の変化は異常気象の発生に大きな影響を与えています。異常気象とは猛暑、豪雨、干ばつ、強い台風など通常の気候パターンから大きく外れた現象のことです。地球温暖化によって大気中の水蒸気量が増えると、短時間に激しい雨が降る可能性が高まり、海面水温の上昇は台風やハリケーンを強力にする要因にもなります。さらに、気温の上昇は熱波の発生頻度や強度を高め、森林火災や干ばつのリスクも増大させると考えられています。

このように、気候変動は気象の極端化を引き起こし、世界各地で異常気象が発生しやすい状況を生み出しています。まずは、気候変動を引き起こす温室効果ガスについて見ていきましょう。



気候変動はなぜおこるの？

気候変動の最大の原因は温室効果ガスです。

地球は太陽の熱によって温められます。その熱を地球の大気にある気体が閉じ込めることを温室効果といい、その気体を温室効果ガスといいます。温室効果ガスが増えた結果、たくさんの熱を閉じ込めてしまうことで、地球の気温が上昇し、さまざまな気候変動を引き起こしています。

温室効果ガスは、水蒸気や二酸化炭素(CO₂)、メタンなどがあります。なかでも、CO₂が世界の排出量の75%を占めています。

温室効果の仕組み



出典：環境省 エコジーン 特集 加速する気候変動
[https://www.env.go.jp/guide/info/ecojin/feature1/20250625.html]

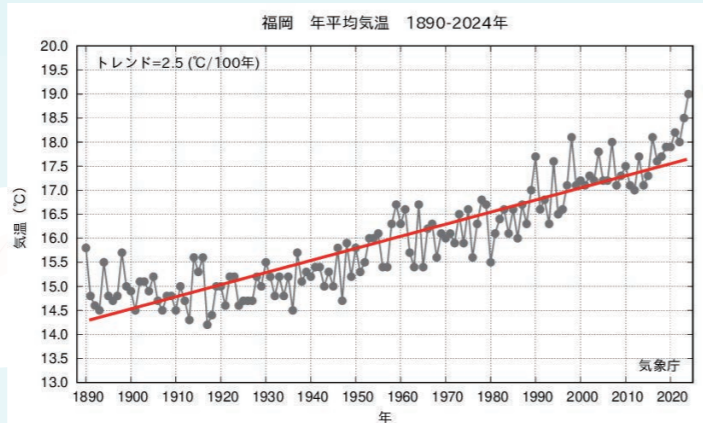
日本もあたたかくなっている

昨年、群馬県伊勢崎市で41.8℃を記録し、日本歴代最高気温が更新されました。猛暑日(最高気温35℃以上)が使われ始めてから19年がたち、気象庁は40℃以上の日に新しい名前を検討しています(※1)。

日本の年平均気温は100年あたり1.44℃の割合で上昇、猛暑日の年間日数は約100年で約4.2倍(※2)に増加しています。

福岡でも年平均気温が100年あたり2.5℃の割合で上昇しています。2.5℃の上昇と聞くと小さく感じますが、体温が37℃から39℃に上がったと考えるとどうでしょうか。

地球も人間と同じく1℃の上昇でも大きな問題となりうるのです。



出典：気候変動適応情報プラットフォーム
[https://adaptation-platform.nies.go.jp/data/jma-obs/index.html]

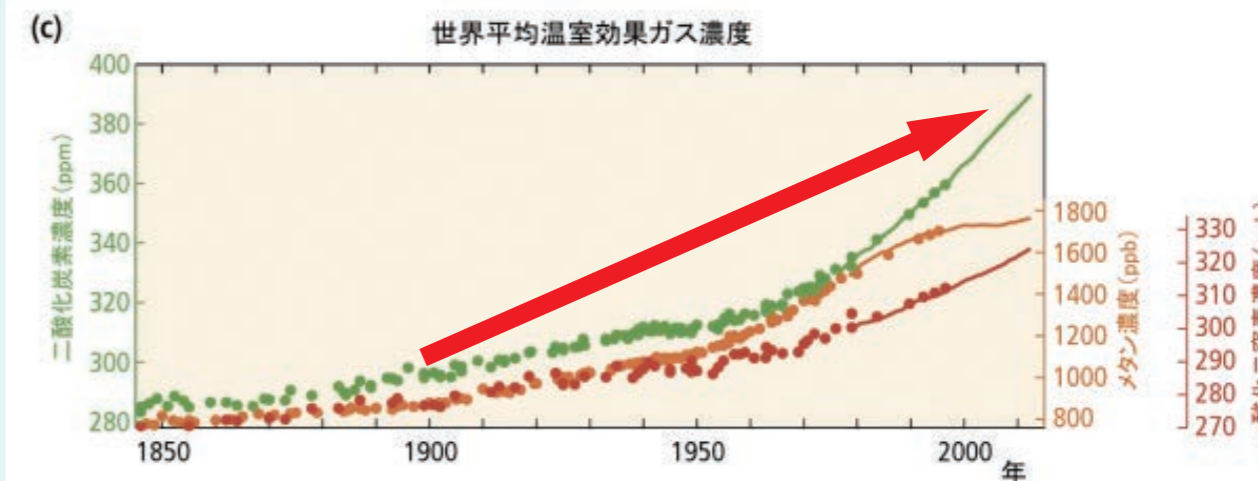
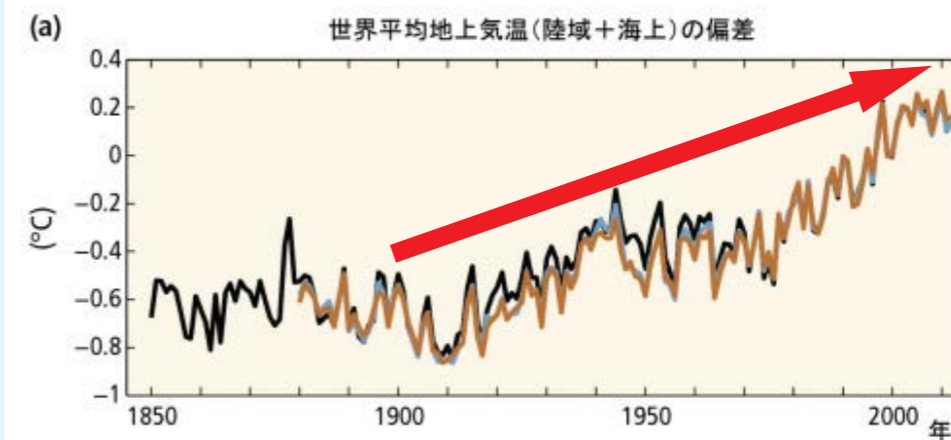
(※1) 「酷暑日」は2022年夏に日本気象協会が命名。
(※2) 最近30年間(1996～2025年)の平均年間日数(約3.2日)と、統計機関の最初の30年間(1910～1939年)の平均年間日数(約0.8日)を比べた。

参考：気象庁 気候変動ポータル [https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/menu/index.html]

なぜCO₂が増えているの？

CO₂の大気中の濃度は、19世紀後半の産業革命から特に上昇しています。それに合わせるように、気温も上昇しています。

産業革命以降は、発電や移動のために石油や石炭などの化石燃料を燃やすようになりました。化石燃料を燃やすとCO₂が発生します。もちろん、植物による光合成などによってCO₂は吸収されていますが、その吸収量を放出量が上回っているのです。



出典：気候変動に関する政府間パネル(IPCC) 第5次評価報告書

CO₂は「悪者」?

CO₂は、必ずしも「悪者」というわけではありません。CO₂はもともと地球の大気に存在している気体であり、植物が光合成を行うために必要な物質です。また、地球の熱をある程度保つ「温室効果」によって、生物にとって住みやすい環境となっています。

そのため、CO₂など温室効果ガスは適切な量に保つことが大切です。適切な量を保つには、人間活動によって増大した温室効果ガスの排出量を減らすことが重要となります。

そこで、世界では温室効果ガスの排出量から、森林による吸収量などを差し引いて合計を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」を実現しようと様々な取り組みがされています。次回は、脱炭素社会について詳しく紹介していきます!

